

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[49]歳、 勤続年数[29]年、 現場経験年数[29] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [過去に 1, 2 回程]、 任務 [複数隊の隊長]
○当事者 B	年齢[34]歳、 勤続年数[15]年、 現場経験年数[15]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 C	年齢[45]歳、 勤続年数[27]年、 現場経験年数[27]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [過去に 1, 2 回程]、 任務 [その他：通信指令]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	当事者 D：年齢 35 歳、勤続 12 年、現場経験 12 年、消防司令補、同様の活動 初 めて、任務 車長 他 4 人

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	B(救急隊)	現場到着後、支援隊要請	
経過 2	A(支援隊)	出動	
経過 3	C (通信指令)	JR に軌道横断の旨連絡	JR 運転停止
経過 4	C (通信指令)	JR に停車の必要なしの旨連絡	JR 徐行で運転再開
経過 5	A(支援隊)	現場到着	
経過 6	A、B	軌道横断	列車停止
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。その他：列車が徐行運転であった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

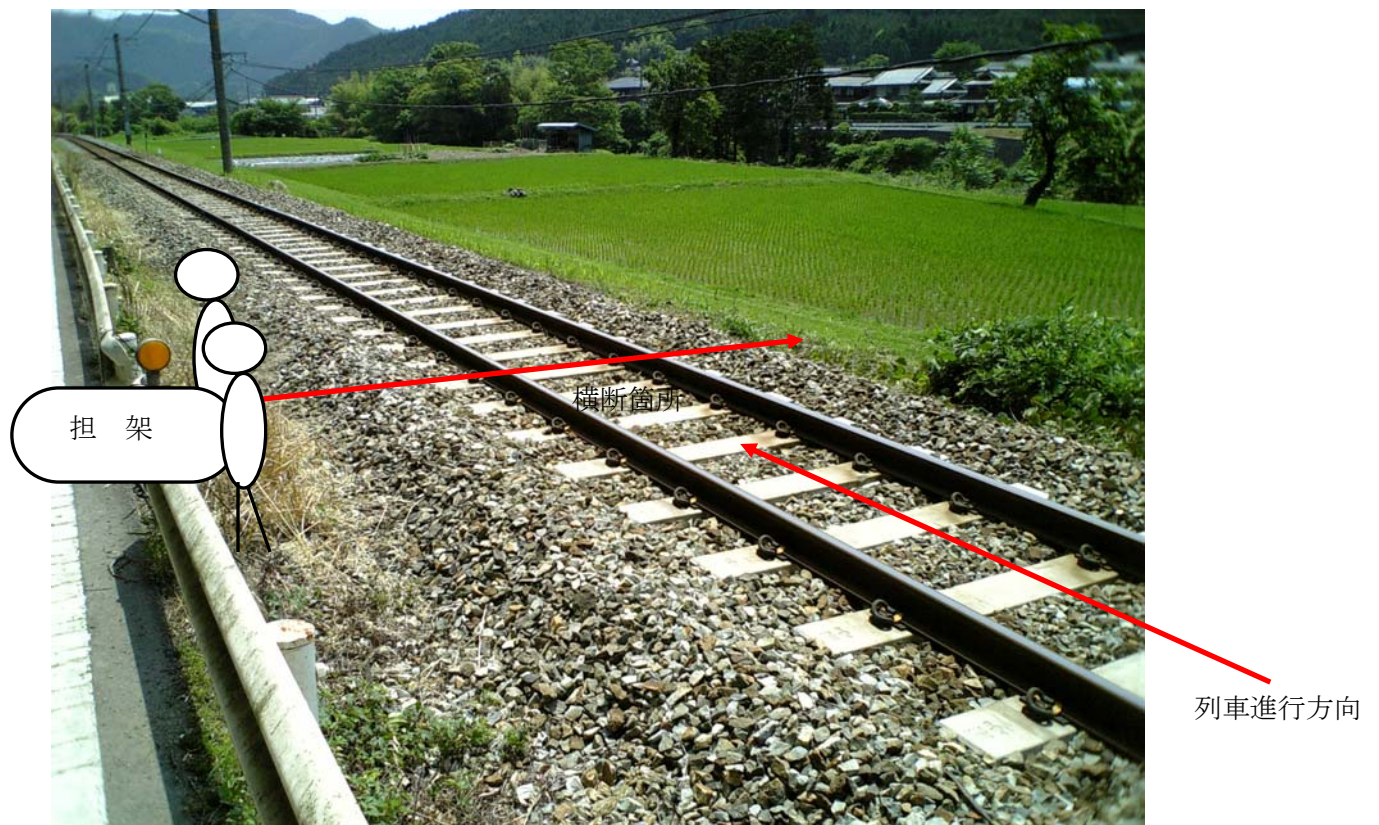
○その他

l. その他の理由があった。

はい：関係機関との連携が不十分だった。

添付ファイル図

傷病者直近への車両部署が不可能であること及び CPA 事案であることから軌道の横断を選択した。



○ヒヤリハット事例：傷病者車内収容のため、JR線軌道を横断した際に列車が停止した事例
（同様の体験は、初めて体験した。）

(09H0016)

・発生日時：平成21年6月15日 午前10時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	隊員C	JR 運転士	備考
		支援隊／消防司令補 ・年齢 49 歳 ・勤続 29 年 ・現場 29 年 ・同様の活動：過去に1,2回程度	救急隊／消防司令補 ・年齢 34 歳 ・勤続 15 年 ・現場 15 年 ・同様の活動：初めて	通信指令／消防司令補 ・年齢 45 歳 ・勤続 27 年 ・現場 27 年 ・同様の活動：過去に1,2回程度	運転士	
出動指令 出動途上 現場到着 活動初期	救急出動指令					救急での出動
活動中期 活動後期		現場到着				
			支援隊要請			他5名の隊員が現場で活動
		出動		JRIに軌道横断の旨連絡	JR 運転停止	
				JRIに停車の必要なしの旨連絡	JR 徐行で運転再開	軌道は直線で見通しがよく、横断は一時的なものであるため、列車の停止は必要なしと判断
		現場到着				
		安全確認				
		軌道横断				
					距離約250mの位置で軌道内に人を確認	
					列車停止	

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：行動の意志決定に問題があった。
- ・集中力、注意力があった。
 - ・避難・退避がうまくいった。
 - ・列車が徐行運転であった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- （その他）
- ・関係機関との連携が不十分だった。